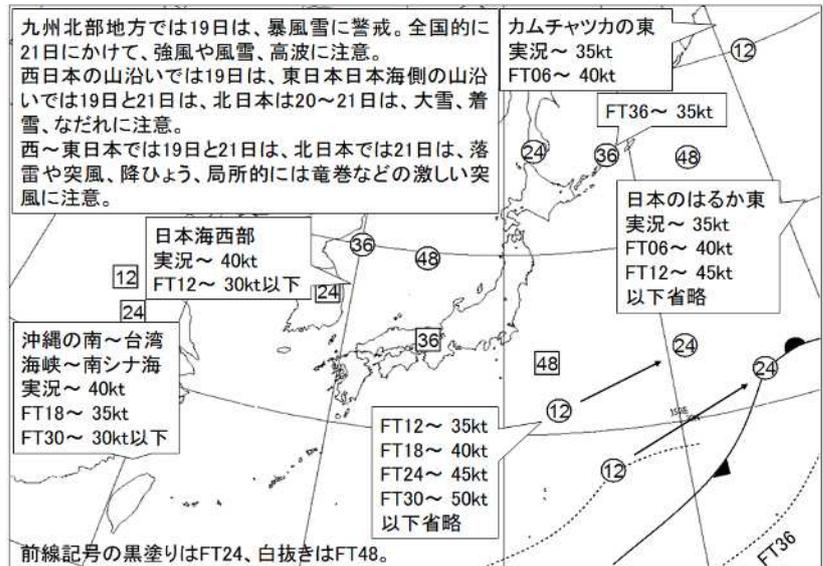


1. 実況上の着目点

- ① アリューシャン近海～カムチャツカの東に連なる低気圧と大陸の高気圧との間で、日本付近は冬型の気圧配置となっている。500hPa 5400m付近で-33℃以下の寒気を伴うトラフが西日本を通過中。西日本を南下するシアーラインや伊豆諸島付近の気圧の谷の近傍で雷を検知、やや強い雨を解析。
- ② 850hPa-6℃以下の寒気が、西日本～東日本日本海側の山沿いでは3時間に18cmの降雪を観測。
- ③ 冬型の気圧配置や①のシアーラインの影響で気圧の傾きが大きくなり、全国的にやや強い風や強い風が吹いて波が高くなり、九州北部地方の灯台では非常に強い風が吹き、しけている所がある。



主要じょう乱解説図

③ 冬型の気圧配置や①のシアーラインの影響で気圧の傾きが大きくなり、全国的にやや強い風や強い風が吹いて波が高くなり、九州北部地方の灯台では非常に強い風が吹き、しけている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 19日は、1項①のトラフが深まりながら西～東日本を通過、西日本を南下するシアーラインは次第に不明瞭になる。また、日本の南の低気圧や朝までに小笠原近海で発生する低気圧が、発達しながら日本の東に進んで冬型の気圧配置が強まる。850hPa-6℃以下の寒気は西～東日本太平洋側まで南下、西日本と東日本日本海側の山沿いでは降雪が強まる。大雪、着雪、なだれに注意。また、上空寒気やシアーラインの影響で、西～東日本では大気の状態が非常に不安定となる所がある。落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 20日は、高気圧が西～東日本を東南東へ移動するが、500hPa 5160m以下の寒冷渦に対応する低気圧がオホーツク海から千島の東に進み、北日本中心の冬型の気圧配置が継続。21日は、500hPa 5400m付近のトラフに対応して、低気圧が日本海から北日本を通過して三陸沖に進み、日本海～東北地方の日本海側にシアーラインがのびる。低気圧やシアーライン近傍では大気の状態が不安定となる。落雷、突風、降ひょうに注意。また、北日本では20～21日は、東日本日本海側の山沿いでは21日は、降雪が強まる所がある。大雪、着雪、なだれに注意。
- ③ 冬型の気圧配置や低気圧及びシアーラインの影響で、全国的に21日にかけて、やや強い風や強い風が吹いて、波が高くなりしける所がある。九州北部では19日は、非常に強い風が吹く所がある。強風や風雪、高波に注意し、九州北部では19日は、暴風雪に警戒。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- 4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(06時からの24時間)：北海道、北陸30、関東甲信25、東北・東海・近畿・中国15cm。③ 波浪(明日まで)：中国・九州北部5、近畿・奄美・沖縄4、その他広い範囲で3m。

5. 全般気象情報発表の有無 「雷と突風及び降ひょうに関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。